

近藤典二先生のダブル受賞祝う

平成23年3月初旬、県下の郷土史研究にかけて並ぶ者なき斯界のオーソリティー、近藤典二先生(中10)が、県の地域文化功労賞、並びに筑紫野市教育文化功労賞のダブル受賞の栄誉に輝かれました。

恩師の快報に接した高8回生仲間から「祝賀会の予定は？」との矢の催促。幹事一同打ち合わせ会を開く直前、日本列島を震撼させた東北巨大地震が勃発。さあ、どうす



県地域文化功労賞を受賞した近藤先生と夫人

る？時を同じくして郷土研究クラブでも同様の話が持ち上がっており、tobeorouto...ハムレットもかくやの迷慮の末、時宜を失ってはせつかくのご栄誉に水を差

してはと決行の英断？新緑の5月19日、ホテルニューオータニ博多での祝賀会と相成った次第です。

8回生30余人、郷研クラブの推薦母体「筑紫野市夢むらさきクロスロード会」からも10人近い参加があり、総勢50有余人のなやかな宴となりました。

先生も既に米寿、足もとに少し難ありといえども頭脳は未だカクシャク！それに何よりもゴールの先に常に新しいゴールを定め、さらなる探求

体験入学に820人

平成23年10月1日午後、本校への進学を希望している中学生や保護者を対象に「中学生の体験入学」を実施し、56の中学校から中学生652人、保護者168人、計820人の参加がありました。この行事では、的確な情報を提供す



体験入学の会場に入る中学生たち

講堂での全体説明会では生徒会による学校紹介や、各部による部活動アピールも行われました。未来の後輩たちを歓迎しようと、それぞれが工夫を凝らした発表をすること

な「生徒さんの活気あふれる感じが良く伝わった」などの意見が寄せられ、成功裡に終了することができました。

充実した東京研修

平成23年8月3日から5日の2泊3日で2年生希望者による東京研修が実施されました。今年の参加者は120人でした。

日程は、1日目が東京大学見学、2日目が企業訪問とOB懇談会、3日目が一橋、東工大や早稲田、慶応などの大

今回は震災の影響による節電対策のため、大学がオープンキャンパスを中止したり、企業や工場がショールームを閉鎖したりで、研修の受け入れ先がなかなか見つからず、一時は研修の実施自体が危ぶまれました。

そのような中、同窓会の東京支部より、東京大学で教鞭をとっていらっしゃる高22回の田嶋先生と24回の西脇先生、37回の西住先生を紹介いただき、例年よりもいっそう充実した東大見学ができました。

また、OB懇談会には東京支部の望月支部長、関岡事務局長をはじめ40人も同窓生の方々が忙しい中、駆けつけてくださいました。3日目の大見学にも先輩の学生が案内してくれました。

参加した生徒たちは皆、目標に向かって頑張る力をもらえた、その後の学校生活に精一杯励んでいます。本当に有意義な研修でした。

同窓会の皆さまの大きな支えに心から感謝いたします。

歴史の重さ感じる資料 記念館



完成した記念館の内部

建て物の概要は、新設された図書館1階のピロティ部分を部屋として改築致したもので、面積は163・27平方メートル。展示室と収蔵庫からなっており、工事費は1850万円。工期は平成23年4月1日から同年7月29日までの4カ月で

設計及び工事監理は、松島豊章氏(高22)が役員をされている株式会社匠建築研究所にお願しました。松島氏は、学校の講堂・武道館・プールの設計に携わられた方で、念入りな打ち合わせの上、的確

な指示をしていただくなど、非常に熱心に取り組んでおりました。

また、工事施工は同窓会建設をされている方をご紹介いただきました。平成23年1月の常任幹事会でお願しましたところ、4社の推薦を受け、3月16日に入札会を実施。林孝行氏(高10)経営の株式会社白石建設が落札されました。

入札直前の3月11日に東日

本大震災が発生し、一時的に断熱材などの建設資材が不足したが、松島氏並びに白石建設のご努力により無事に予定通りの工事期間内に工事を終えることができました。

展示ケースや資料のデジタル化など内部施設整備並びに資料整理に650万円を要し、記念館全体では総額2500万円となりました。

設計・建築の他に、建設計

画全体の事前チェックと確認を長谷川保宏氏(高29)、展示全般を副島邦弘氏(高16)、資料のデータベース化やタッチパネルによる筑紫丘アーカイブズの作成には八尋信明氏(高23)、撮影と入力に原田啓子氏(高24)、液晶パネルの手配はNECの前田慎一氏(高34)、展示パネルの作成は遠原治氏(高42)とそれぞれ専門の立場で関わっていただきました。

実に多くの同窓生の手によって、記念館は完成しました。

そういう意味で、この記念館は、同窓生手作りの記念館といえます。

この記念館は、同窓生のみならず在校生、筑紫丘を目指す中学生や保護者の方々にも見ていただきたい、母校の歴史は遠くを感じていただく場となることを願っています。

(事務局)

昭和11年11月3日 明治節ノ佳辰ヲトシテ校旗制定式ヲ行フ 蓋シ校旗ハ初代校長生田先生ノ寄贈セララル所ナリ

(創立十周年記念誌)



この日、講堂の壇上に立った生田前校長は自ら岩田屋デパートに注文して校旗を作らせたこと、その真紅の地色は純忠の赤心を表し、銀繡の中の徽章は誠実剛健の気風を示すものであると熱弁をふるわれ、全校生徒に深い感銘を与えた。

(筑紫丘四十周年史)

この銘板は、筑紫中学創立10周年記念に際し、昭和12(1937)



年に建てられた記念館の玄関上部に掲げられていたものである。記念館は、2階建てで1階が図書館・郷土館、2階が同窓会室・和室などがあつた。

昭和27(1952)年に現在地に学校が移転した際、正門右手の丘上(現在の階段正門付近)に平屋で再建されたが、図書館建設のため昭和39(1964)年に取り壊された。なお、この時の図書館も創立80周年記念事業の一環として、平成19(2007)年現在の図書館に建て替えられた。



今泉実子さんと矢原陽南さん



東京研修に参加した生徒たち